

最高裁において鉄道・運輸機構との和解成立

1047名のJR不採用問題に対するご支援・ご協力ありがとうございました。

ご報告と御礼

長年にわたり、私どもの1047名のJR不採用問題の早期全面解決をめざす取り組みに対し、並々ならぬご理解・ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

1987年にJRを不採用となり、1990年4月1日に国鉄清算事業団から1047名が二度目の解雇をされてから23年の歳月が経ちました。

一日も早い解決を求め、闘い続けた歳月は実に四半世紀に及び、当時は働き盛りにあった被解雇者の平均年齢もすでに56歳を超え、無念の思いを残して亡くなった当事者も64名を数えます。更にこれからの人生や老後の生活設計など将来への見通しが立たないなかでの不安や動揺は計り知れず、まさに解決は一刻の猶予も許されない状況にありました。

こうしたなか、去る4月9日、民主・社民・国民新党の与党三党（当時）と公明党は、政府との間で「雇用・年金・解決金」を柱とした1047名のJR不採用問題の解決案を取りまとめることで合意しました。

国労は当事者・原告をはじめとする「4者・4団体」とともに直ちに解決案の受諾を表明し、4月26日に開催した第78回臨時全国大会において正式に承認を行い、6月28日には最高裁において鉄道・運輸機構との間で和解が成立しました。

23年もの長きにわたり、皆様方から頂いたご支援・ご協力と言葉で言い尽くせぬご厚情にあらためて感謝と御礼を申し上げます。

書面にてはなはだ失礼かと存じますが、引き続き、残された課題である雇用問題の解決まで皆様方のご理解を賜りますようお願いし、ご報告ならびにご挨拶とさせていただきます。

長い間のご支援・ご協力、本当にありがとうございました。

2010年7月


国鉄労働組合

「JR不採用問題解決実現」にご支援・ご協力頂き

誠にありがとうございました

拝 啓

各位のご活躍心より敬意を表します。

また、平素より私ども国鉄労働組合に対しまして、格段のご支援、ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、1987年の国鉄分割・民営化に伴うJR会社の発足で発生した採用差別事件について、本年4月9日に政府からの解決案が示され、訴訟原告団の4者とそれを支える4団体が受け入れを表明し、23年間に及んだ労働争議が終結にむけて大きく動き出しました。

私たちは4月26日に第79回臨時全国大会を開催して、解決案を正式に受託承認を行い、6月28日には最高裁において鉄道・運輸機構との間で和解が成立しました。

事件発生からこの間、全国各地の議会から836自治体1232本（21都道府県280市459町60村16特別区）の意見書が採択されてきました。

今日まで、自治体をはじめ関係各位の皆様方には、国労闘争団の生活体制確立にも多大なご尽力を頂いてきました。

今回の解決に至ったのは、ひとえに皆様方のご支援・ご協力の賜であると、衷心より感謝申し上げます。

しかし、解雇された国労組合員のうち、56名が解決を見ることなく闘い半ばで他界されたことは残念でなりません。

また、残された課題である闘争団員の雇用問題が依然として不透明であるため、「路頭に迷わない解決」に向けて最後まで気を緩めることなく、組織の総力をあげて奮闘していく所存です。

今後とも変わらぬお力添えと、ご指導・ご鞭撻をお願いし、書面にてお礼と報告に代えさせていただきます。なお、関係資料を同封いたしました。

長い間のご支援・ご協力、本当にありがとうございました。

敬 具

2010年7月

国鉄労働組合北海道本部
執行委員長 斉藤 英二